

# 全ての道は大山へ通ず

# 大山信仰と大山道

江戸中期以降、江戸周辺の地廻り経済が活性化すると、江戸市中の中・下級の庶民は、近隣の神社や名所・旧跡に物見遊山に出かけた。中でもとりわけ相模国大山は、夏の例大祭の時期を迎えると、現世利益を希求する人たちが大賑わいであった。歴史資料に基づいて、さまざまな視点から大山信仰と大山道を考えてみよう。

**日時** 2月24日(土) 10時~12時

**会場** 神奈川県立かながわ労働プラザ (JR根岸線石川町駅北口徒歩3分)  
4階 第5,6,7会議室

**受講料** 1,000円

**定員** 70名(要予約)

※当日現金(お釣りが無いようご準備下さい)

**講師** 川島敏郎氏

特定非営利活動法人 神奈川歴史教育研究会 理事長

・・・お申込み・・・**かながわ労働プラザ利用受付**  
〒231-0026 横浜市中区寿町1-4  
電話 045-633-5413 Fax 045-633-5416



## 「大山信仰と大山道」

### 受講申込書

お名前	ふりがな			
住所	〒			
電話番号				
講座の情報源		受付日 (事務処理欄)		受付者 (事務処理欄)

※ご提供いただきました個人情報は、講座の開催及びご案内に関する業務の範囲内でのみ使用させていただきます。

※諸般の事情により講座が中止・変更となる場合がございますので、予めご了承下さい。